



平成30年4月 公共交通再編 公共交通の 見直しへ向けた 検討状況の お知らせ

篠山市では、平成17年にコミュニティバス(コミバス)を導入し、路線バスが走らない地域での交通手段を確保してきました。

しかしながら、「自宅から停留所までが遠い」「乗り換えが困難」などの意見をいただくこともあり、利用者も年々減少しています。

そこで、さまざまな交通手段を組み合わせ、より利用しやすい公共交通への大幅な見直しをすることとなり、再編案を作成しました。現在、自治会長の皆さんとの意見交換

会を実施しており、平成29年8月には最終案を整え、以降を各種手続きと周知の期間とし、平成30年4月に再編実施を予定しています。

今は自家用車をお持ちの皆さんも、いつかは公共交通に頼る時が来るかもしれません。そんな将来を考えていただくきっかけとして、意見交換会で提示している再編案といただいたご意見・ご要望を広く市民の皆さんにもお知らせしますので、これからの公共交通をみんなで考えていきましょう。

問い合わせ
創造都市課
☎552・5106

公共交通再編案の作成

コミュニティバスは現在、市内7つのルートで運行しています。利用者の方からは「病院や買い物に行くのに助かっている」などといった意見を多くいただくものの、利用者数については年々減少傾向にあります。また、ルートによっては1便の利用者が1人に



乗合タクシーの運行 市町村運営有償運送事業などの実施

バスだけでは十分にサービスが行き届かない方面・地区に対して、交通機関同士が競合しないよう日中を減便する代わりに、市町村有償運送事業や乗合タクシーなどより小回りの利く、きめ細かな運行手段を提案し、支援します。どちらも運行条件(日数・便数・経路など)は地域を中心とした組織にて決定します。

また、年齢(75歳以上など)制限や自動車運転免許の有無など条件付きでタクシー利用券を配布することにより、公共交通機関が不足する地域を補うことも検討します。

乗合タクシー

現在、市役所～城北～畑地区方面で運行しています。プロの運行事業者が提供するサービスとして、安全な運行が期待できますが、発生する運行赤字の一部を地元で負担する必要があります。

市有償運送事業

市が事業主体となり、地域住民自らが運転手を務める輸送サービスです。車両や燃料代・日当など諸経費は市が負担し、地元の金銭負担は無く、地域の顔見知りによる運転なので、利用者は頼みやすいというメリットがあります。

しかし、運転手は地域で確保し、安全運転講習を受ける必要があるほか、万一の事故の際、減点や免許停止などの行政処分は運転手が負う(対人・対物などの責任は市が負う)こととなります。

ですが、各地区ごとの再編方針が固まるまでは今後も引き続き意見交換会を重ねます。地域においても公共交通のあり方について考えていただいている中、代表者のみならずのご意見・ご要望を最大限尊重しながら、市の財政状況や事業者の意向を加味しつつ最終案を整えていきます。

満たないルートもあります。平成26年11月から公共交通に関わりのある部署の職員による庁内プロジェクトチームにおいて検討を始めました。そして、バス事業者などの協議を経て市の再編案を作成しました。

①市内19地区に対して、地形などの特性に応じた何らかの移動手段(バス、タクシー、自家用車など)を確保します。

②どの方面・地区からも市役所周辺および篠山口駅のほか、特に需要が多い医療機関、商業施設(通院・買い物)まで、多くとも1回の乗り換えで往来可能にし、1日3往復は確保します。

③バスだけでは十分にサービスが行き届かない方面・地区に対して、交通機関同士が競合しないよう日中を減便する代わりに、市町村有償運送事業や乗合タクシーなどより小回りの利く、きめ細かな運行手段を提案し、支援します。

コミバス利用者の推移



各地区における再編概要および意見について

地区	再編概要	意見交換会での主なご意見(2月13日現在)
西紀南	草山温泉発の路線バス駅直行使(高屋～黒田)の半分を、市街地直行使に変更する コミバスDルートを平日毎日運行に増便する	・市町村有償運送などの提案を希望する ・短い路線を数多く走らせるほうがいいのではないか ・思い切って路線バスをなくすなど、根本的に変えてほしい
西紀中	路線バス駅直行使の半分を、市街地直行使に変更する(栗柄～宮田間の便数は現状どおり) ボランティア輸送の代わりに日中に乗合タクシーまたは市町村有償運送を運行する	・乗合タクシーまたは市町村有償運送について、地域で検討したい ・高齢者の増加に伴い、今後利用者も増えるのではないか ・利用者にとって、運賃が安くなる輸送手段を希望する
西紀北	路線バス駅直行使の半分を、市街地直行使に変更する(草山温泉～本郷間の便数は現状どおり) コミバスAルート・西紀北福祉バスを廃止し、代わりに日中に市町村有償運送を運行する	・市町村有償運送の実施を検討している ・玄関先から停留所までの手段が必要 ・路線バスの運賃を低額にしてほしい
大山	追入～長安寺を路線バスが現状どおり運行する コミバスDルートを平日毎日運行に増便する	再編案で了承
味間	草山温泉発の路線バス(西古佐～駅)駅直行使の半分を、市街地直行使に変更する 駅～住吉台・市街地行きの路線バスが現状どおり運行する コミバスFルートを廃止し、Dルートを平日毎日運行に増便する	・運賃はともかく、自由度の高いタクシー方式を希望する ・公共交通機関のみで、希望する場所へ行くのは難しい ・朝夕に集中的に走らせるべき、日中の運行は不要ではないか
城南	栗栖野～野中を路線バスが現状どおり運行する(市街地方面) コミバスFルートを廃止し、Cルートを平日毎日運行に増便する(ルートはバザールタウン終点に延伸)	・タクシー利用券について検討してほしい ・主要な病院を巡回するバスを運行してはどうか ・コミバスが毎日運行になれば、日々の行動も考えやすくなる
古市	牛ヶ瀬～草野(藍本駅)、不来坂～当野(今田発市街地方面)の路線バスが現状どおり運行する コミバスCルートを平日毎日運行に増便する(ルートはバザールタウン終点に延伸)	・再編案で了承 ・コミバスの運賃が分かりにくい
今田	路線バスが現状どおり運行する(清水・相野駅方面、市街地方面) コミバスCルートを平日毎日運行に増便する(ルートはバザールタウン終点に延伸)	・タクシー利用券について、検討してほしい・用事を済ませる時間を見越して、バスのダイヤを検討してほしい ・買い物客は荷物もあり、玄関先での降車が必要 ・北部と南部に分けた検討が必要

地区	再編概要	意見交換会での主なご意見(2月13日現在)
篠山	現状どおりの路線バスを利用	再編案で了承
八上	八上内～糯ヶ坪を路線バスが運行する(市街地方面) コミバスFルートを廃止し、代わりに乗合タクシーの運行またはタクシー利用券の配布を検討する	・コミバスの運行より、無駄の少ないタクシー利用券を希望する ・乗合タクシーの運行を検討してほしい
畑	乗合タクシーが現状どおり運行する	・現状どおり乗合タクシーの運行を希望する ・平成26年のルート変更後、一時増加した利用者は減少傾向にあるが、何とか維持したい
城北	郡家を路線バスが運行する(柏原・西紀北方面) コミバスFルートを廃止し、代わりに乗合タクシーの運行またはタクシー利用券の配布を検討する 乗合タクシー(新荘～大熊)が現状どおり運行する	・タクシー利用券について検討してほしい ・迂回の多いコミバスは、時間がかかり使いにくく、廃止はやむを得ないと思う ・代わりに必要な分だけ走らせる方法を検討してほしい
岡野	東岡屋、矢代～東浜谷を路線バスが運行する(篠山口駅・柏原方面) コミバスDルートを平日毎日運行に増便する(有居～東岡屋)	・デマンドタクシーを検討してほしい ・タクシー利用券について検討してほしい ・谷の深い集落は路線(停留所)から距離があるため、バスは使えない
日置	辻～八上上、曾地中～日置を路線バスが運行する(市街地方面)	・路線から遠い人のために、きめ細かな手段を希望する ・谷の深い集落は路線(停留所)から距離があるため、バスは使えない
後川	路線バス(後川奥～後川上)の日中の便を減便し、路線バス(小柿～籠坊)・コミバスGルートを廃止する代わりに、日中に乗合タクシーまたは市町村有償運送を運行する 後川～川西行きの路線バスが現状どおり運行する 朝夕の路線バス(後川奥～後川上)は現状どおり運行する	・乗合タクシーまたは市町村有償運送について、地域で検討したい ・小中高生の通学にも留意してほしい ・これらの方法はどこまで運行できるのか
雲部	路線バス(東本荘～倉谷)の日中の便を減便する(市街地方面) コミバスBルートを平日毎日運行に増便する(県守・春日江方面経由、ルートは細工所起点に短縮する) 朝夕の路線バス(東本荘～倉谷)は現状どおり運行する	・再編案についておおむね了承 ・停留所をより居住エリアや目的の施設に近付けてほしい ・奥県守まで延伸してほしい
福住	路線バス(福住～奥原山・西野々)の日中の便を減便し、コミバスEルートを廃止する代わりに、日中に乗合タクシーまたは市町村有償運送を運行する 福住～篠山口駅直行的路線バスが現状どおり運行する	・乗合タクシーまたは市町村有償運送について、地域で検討したい ・これらの方法はどこまで運行できるのか ・ダイヤどおりに用事が済まない(特に乗合は困難)
村雲	コミバスBルートを平日毎日運行に増便する(ルートは細工所起点に短縮する) 路線バス(小田中～細工所)の日中の便を減便し、コミバスEルートを廃止する代わりに、日中に乗合タクシーまたは市町村有償運送を運行する 朝夕の路線バス(小田中～細工所)は現状どおり運行する	・多紀小の前から市街地へ通勤利用がある ・福住方面(山鳥病院)への移動手段をどうするのか ・大芋地区と再編方針の調整が必要
大芋	路線バス(立金・大芋～福井)の日中の便を減便し、コミバスEルート・Bルートを廃止する代わりに、現行のボランティア輸送を市町村有償運送へ移行する 朝夕の路線バス(立金・大芋～福井)は現状どおり運行する	・市町村有償運送の実施を検討している ・市町村有償運送が実施できるよう、バス路線を取捨選択してほしい ・市町村有償運送は福住方面のほか、どこまで運行できるのか

全般に共通するご意見

- 車無しの生活は困難なので、家まで来てほしい
- 増加する高齢者の事故を減らすためにも、免許を返納しても安心して生活できる交通網を形成してほしい
- 必要なときに必要な分を走らせる(デマンド)が、無駄なく効率的ではないか
- 公共交通の利用方法が高齢者でもよく理解できるように対応してほしい
- 小回りのきく車両で、自宅から乗降までの距離を短くしてほしい



- 平成14年3月末
JRバス全路線撤退
- 平成14年4月
日本交通(乗合タクシー)、京阪京都交通、神姫バスによる代替運行開始(スクールバスとの混乗も開始)
- 平成17年10月
コミバス「ハート」の実証運行開始
- 平成19年10月
コミバス「ハート」の本格運行開始
- 平成20年4月
コミバスのバス停以外でも乗降できる「フリー乗降区間」の導入
- 平成21年7月
神姫バスから神姫グリーンバスへ事業移行
- 平成22年7月
曾地奥線乗合タクシー

- の廃止(主な利用者は児童、スクールバスへ転換)
- 平成27年11月
再編に向けた庁内プロジェクトチーム発足(9回の協議にて再編案を作成)
- 平成28年10月
議会全員協議会にて再編案を説明
- 平成28年11月
各地区自治会長を中心に意見交換会を開催
- 平成29年6月ごろ
各地区での再編案を確定予定
- 平成29年8月ごろ
市全体の再編案を確定予定
- 平成29年9月以降
陸運局への手続き、再編案の周知
- 平成30年4月
再編案での運行開始
- 平成32年4月
2年間の利用状況を踏まえた路線再編・廃止などの見直し